

「やればできる」を合言葉に

桂川小学校校長 薄井 純一

4月7日(月)より、令和7年度の桂川小学校の教育活動がスタートしました。本年度は、27学級、504名の児童と、56名の職員でのスタートとなりました。(4月の人事異動により、12名の新しい先生方を迎えるのスタートです。)

本校には、これまでも紹介しましたように全校スローガンがあります。それは、「やればできる」です。



令和7年度は、「やればできる」を合言葉に、学校教育目標「未来を志向し、たくましく生きる力を身につけた児童の育成」の具現化に向け、3つ

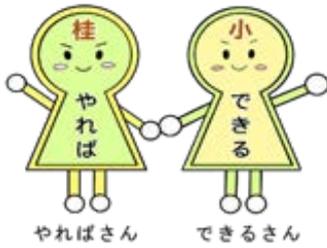
1つは、「児童が確かな学力を身につけること」です。児童一人一人が、未来の自分の夢をかなえるための土

台となる学力を身につけることができるように、日々の授業づくり丁寧に取り組みます。特に、「自分なりの考えを多様な表現方法で他者に伝えること」を大切にします。

2つは、「児童の豊かな人間性を育むこと」です。504名の児童が学ぶ学校では、お互いの気持ちを考え認め合うことが必要です。学校生活のあらゆる場面において、自分の心と向き合うことを大切にします。

3つは、「児童のすこやかな心と体を育成すること」です。前向きな心と元気な体は、自分の夢に向かって頑張るための原動力です。児童が「体を動かす楽しさ・気持ちよさ」を味わうことができる取組を大切にします。

保護者の皆様、地域の皆様、町内各機関の皆様におかれましては、本年度も本校教育活動にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



「いのち・あいさつ・じぶんで」を大切に

桂川東小学校校長 岡本 一郎

令和7年度、東小学校は新一年生14名を加え、107名でスタートしました。



▲入学式の様子

令和7年度の学校教育目標は、「未来を豊かに創造する児童の育成」としています。「未来」とは、五年後・十年後の未来でもありますが、本校では、「今日の算数の時間にこんな問題を解けるようになるう」や、「友だちとこんな活動を頑張ってみよう」など、子どもが、自分の近い未来について、自分なりに考え・判断し・表現できることを目指します。この「近い未来を豊かに創造する力」を育成することが、「予測困難」と言われるこれからの時代をしっかりと生き抜く力につながると思います。

そこで、新学期の始業式では、東っ子に1学期のキーワードを「いのち・あいさつ・じぶんで」と示しました。107名の東っ子は、このキーワードを意識しながら、主体的に、協働的に、これからの皆さんの活動に取り組んでいきます。我々東小の職員は、そんな東っ子全員が、予測困難なこれからの時代を、たくましく生き抜くための資質・能力を高め身に付けるために、全教育活動を通して、お子様の、「学びづくり」、「心づくり」、「身体づくり」に精一杯努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、平素より温かい見守り等に感謝申し上げます。

今後本校教育活動に対し、ご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

